

雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会  
会議録（安庭小学校開催分）

平成 2 5 年 1 1 月 2 6 日

雫石町教育委員会

平成25年11月26日雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会を開催した。

場 所 安庭小学校1階ホール

時 間 19時00分～19時55分

1. 出席者

一般住民 9人

2. 事務局から説明のために出席した職員

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 雫石町教育委員会教育委員長   | 上 野 宏   |
| 雫石町教育委員会教育委員    | 佐々木 浩 子 |
| 雫石町教育委員会教育長     | 吉 川 健 次 |
| 雫石町教育委員会学校教育課長  | 高 橋 啓 二 |
| 雫石町教育委員会学校教育課主査 | 田 辺 茂   |

3. 書 記

雫石町教育委員会学校教育課主任 坂 井 一 博

#### 4. 開会宣言

田辺主査 雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会を開始します。まず初めに教育委員長からご挨拶をお願いします。

委員長 お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。町内 10 校での説明会、今日が最後。一生懸命説明しますのでよろしくお願いします。

さて、ご存知の通り少子化の波が押し寄せ、全国同様雫石でも急激に児童数が減少。平成 24 年度、町内小学校の子供達は 852 名。わずか 6 年後は 700 名を切って 698 名。それに伴い、町内 10 小学校で 2 学年と一緒に勉強する複式学級を抱える学校が 6 校に。やはり複式学級での学習を見るとどうしても少人数なので子供同士で意見を出し合うということが出来にくく、多様な意見を聞いて自分の考えを作ることが弱くなる。もちろん少人数なので担任の先生が一人ずつに目を向けて丁寧に行き届いた指導、和やかな雰囲気の子供達が学習や運動を出来る点もあるが、どうしても子供同士で磨き合う、高め合うことが弱くなるのが大きなマイナスかと。21 世紀の今、子供達に必要な力は、みんなの中で色々な意見を聞き、自分の考えとして作り変え、その考えを発表して聞いてもらう。そういった力がこれから特に必要。そこでこれからの学校はある程度の人数の子供達が一緒に学習する学級がどうしても必要と考えた。

そこで町内の小学校を見つめ直し、適正規模の学校にということで平成 24 年度適正化検討委員会を立ち上げた。そして今年 2 月に 5 回の検討委員会を経て提言書をいただいた。今年度に入り、教育委員会で 6 回の会議を開き、子供達の教育に何がいいかを考えてきた。その結果をまとめたのが今日の基本計画。私共は、子供達の学習環境をより良いものにするにはどうしたらいいかを第一に考えた。まだまだ粗い計画だが、皆さんのご質問やご意見をいただき、それを踏まえてより良いものにしたい。どうぞ沢山のご意見をよろしくお願いします。

田辺主査 〔説明会参加の事務局の紹介〕

学教課長 〔以下、適正配置基本計画を資料に沿って朗読し、内容を説明する〕

田辺主査 ご質問、ご意見等については挙手で発言をお願いします。

学教課長 ちなみに、平成 22 年実施の父兄対象アンケートでは、安庭では「現状のままを希望」が 22.7%、「近隣の小学校と統合を希望」が半数を超えて 51.5%、「町全体で学区の再編、調整を希望」は 24.3%。安庭の保護者の皆様は統合を望んでいる方が多かったとなっている。要望でも出していただければ。

参加者 安庭だと三世代間交流があるのでおじいさんおばあさんとの交流を頻繁にやっている。多分各小学校活動はされていると思うが、現在の安庭小に統合になって、大村、南畑はもしかしたら地域の方々との交流が手薄になってしまうの

ではないかという思いがある。自分達のところではないがそのあたりが心配。子供達と年配の方々の交流はやはり必要になるので、その辺考えているか。考えていなければ、考えていかななくてはならないと思う。

学教課長 大村は、山祇神楽の伝承活動。週 1 回木曜夜、伝承館に子供達が集まって活動している。前は学校でもやっていたが、今は学校を離れて地域の活動としてやっている。例えば、木曜日はそのまま大村の地域でやらせたいし、南畑も色々やっているの、それについては地域の方々と相談しながら、地域に戻す日を全体的に調整して、地域の活動続けていきたいと考えている。

教育長 統合後の運動会や学習発表会で、今それぞれの学校の伝統芸能等の発表の場を設けてほしい。出来なければ学校ではなく別に発表の場、機会を設けたい。敬老会も今小学校がそれぞれ参加し、地区ごとに午前午後に分かれて発表。それが 5 校でも現在の 10 校の発表を組みたいと思っていた。こちらでも運動会や学習発表会では学年の発表の他に地域での発表にも組み入れて欲しい。他の小学校についても統合したところで組み入れて欲しい。これは統合準備委員会が出来てから、学校行事をどうするか、地域行事をどうするか、話し合ってもらいたいと思っていた。

教育長 ちなみに安庭では 1 年生の民謡お国めぐり、その他に太鼓やさんさはあったか。回る時間がなくて所々しか見ていないので。

佐々木委員 芸能祭での発表の場はあった。無形文化財とか、よしやれとか。

教育長 それぞれの地区での団体で出場ということですね。安庭省一会か。

佐々木委員 あと戸沢の太鼓会がさんさ踊り。その二団体がメインです。

学教課長 もし、この校舎を使わずに他の学校に行くとなったらどうか。教育委員会ではメリットを整理したい。昨日、南畑で色々意見が出たが、それぞれの学校のはっきりとしたメリットデメリットを整理し、もっと検討して欲しいと言われている。教育委員会ではここを考えていたが、もしかしたら再度検討する可能性もある。一番のネックは体育館が古い部分。すぐに建設できるかと言えば、復興で予算が必要になるということで、早急に整備はできない。

委員長 御所地区が 1 校になった時の児童数、資料の平成 30 年では 1 年生 17 名、2 年生 19 名、3 年生 22 名、4 年生 25 名、5 年生 18 名、6 年生 23 名。全校約 120 名。その子達がこの学校を使う場合に、ここをこうした方がいいとか、あるいは他に行くとしてもこの施設は駄目だとか、考えてご意見いただければ大変ありがたい。安庭は新しくとても綺麗だが、恐らく耐震のために建てて、統合で建ててはいない。視点が違った形で建てている。この学校を使う場合はここをやらなくとこの人数ではとか、そういった意見でも結構です。

学教課長 年度別に見ると、26～30 年度まで統合を想定した児童数について、一番多い人数が 1 学級あたり 25 名。30 名にならない。教室の広さは安庭の教室でも 25

名なら十分。ただ、南畑はもっと広い。安庭は 56.25 m<sup>2</sup>だが、南畑は 64 m<sup>2</sup>。ただ安庭の教室も先程拝見しましたが、十分に 25 名の児童数で対応できる。あと、安庭では特別支援教室がある。南畑は昨年度まであったが空き教室を使用。その他に児童クラブも空き教室を使ってやっている。特別支援教室をどうするか、児童クラブは外に新たに設置しなければならない。もし向こうに統合となればこちらから移設する対応。そういった部分全体を再度こちらでチェックして整理したい。ただ、ここを建ててからまだ 6 年で、文部科学省からの補助金も入り、その関係で文部科学省がどう考えるか。当然南畑も入っているが、28 年経過するところ。南畑小が建設されたのは昭和 60 年頃で、こちらは平成 19 年度。阪神淡路大震災後に建築基準、耐震基準が強化された。その後の建物なので強度的にはこちらが十分強度がある部分はある。国で示している部分については南畑も十分大丈夫。今後こちらでも更に検討する。色々聞きたいと思いますので、ご意見等がありましたらよろしくお願いいたします。

あと一番は子供達でしょうし、PTA も。南畑の施設を見たいと希望があれば行っていただき、南畑の PTA がこちらを見学したいとなればこちらでも対応する。両方を見る形でも進められる。今日は一方的な説明となったが、皆さんの意見を集約し、今日だけでなく今度は懇談のような形で場を設定したい。

田辺主査 皆さんから何かございますか。なければ、本日は終了としたいと思うがよろしいか。それでは最後に教育長からお願いします。

## 5. 閉会宣言

教育長 夜遅くお集まりいただき大変ありがとうございます。雫石の子供達にとってよりよい教育環境は何かを第一に考え、ある程度の人数の学級で切磋琢磨できる教育環境を考えて、今回のこのような基本計画を立てた。どうかこの基本計画をご理解いただき、雫石町の子供達を育てて参りたい。どうかよろしくお願いいたします。今日帰られてからでも結構なので、何かあれば教育委員会にお申し付けいただければありがたいと思っています。